

# 迎春2015年元旦

## 連合中越地協幹事会 日中労働者協議会 連合新潟対話会



第844号 2015.1.1  
連合中越地域協議会  
長岡市東蔵王2-2-68  
TEL 0258-24-0515  
FAX 0258-24-8930  
発行人 矢島 良彦  
定 価 1部10円  
購読料は会費に含む



新春にあたり  
連合中越地域協議会  
議長 矢島 良彦

新年あけましておめでとうございます。連合中越に結集する組合員とご家族の皆様、そして、日頃よりご指導・ご鞭撻を賜っております各関係機関・各団体の皆様に新年のご挨拶を申し上げます。

昨年師走の総選挙では、野党共闘による自民党候補との戦いでありましたが、残念ながら国民の真意は今の安倍政権を支持し、アベノミクスに期待するといった結果に終わりました。組織の代表として忸怩たる思いであります。有権者の半分しか投票しない衆議院選挙なんて、真つ当な政治家ならば、反省、慙愧の念を著しくしなければなりません。同時に政治が根元から崩れつつあることを直視せねばならない時なのです。与党、とりわけ自民党が大勝すれば一國のかたちを変えようとする動きが加速する危惧があります。白紙委任になつてはならない(東京新聞社説12/14)という見解はもつともな危惧でありました。現に、沖縄全選挙区では自民敗北。棄権は危険だが、投票は大きな力を生むのです。しかしながら有権者はこの国の有り方・方向性にイエスと言つてしまいました。そのツケを近い将来払わされるのではないのでしょうか。円安不況で地方はたまったもんじやない、そして労働者も規制の緩和で厳しい時代が来る予感です。

連合は今回の結果を受け、早急に働くことを軸とする安心社会の実現に真正面から政策論議を行う必要があります。来る統一地方選挙では多くの我々の同士が、地方議会で果敢に挑戦してくれることを期待しています。その為には、推薦候補者全員の当選が急務であります。それぞれが構成組織及び組合員の皆さんは当事者意識を持ち、断固たる思いで戦つて下さい。

さて、様々な運動課題がありますが、これからの労働運動で重要なことは、労協協、NPO団体と連携し、行政サービスのみにカバールしきれない領域を担う活動を推進することです。労働組合が地域の活動へ深く関わりをもつことが、連合中越がめざす、『自立した持続可能な日本一の地協活動』であるわけです。また、当然ながら地域の抛り所としてのライフサポートセンター事業や生活困窮者支援事業を推進し、働くことを軸として地域の関わりを大切に、組織された組合員だけでなく全ての労働者の福祉向上をめざすことが原点です。

そういう意味で、これらの地域活動に産別、単組の皆さんの関わりを持って頂くことを願います。そして、更に中越管内に地協の運動を浸透させ、組合員の負託に応えることはもちろん、社会正義・公平公正な社会づくりの愚直なまでに邁進し、地域の労働運動の活性化に貢献していきましょう。

最後に、本年も変わらぬご指導を賜りますようお願いし、皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

あけまして  
おめでとようございます



- |    |       |         |     |       |     |     |      |         |     |       |      |     |       |        |      |       |      |      |       |      |      |      |     |      |      |     |      |       |         |      |       |         |      |       |      |      |      |         |      |       |       |      |       |        |      |       |     |      |       |      |      |       |      |      |       |      |      |      |      |      |      |          |      |       |     |      |       |      |      |       |       |      |       |       |      |       |       |      |        |       |      |      |         |      |       |         |      |       |         |      |       |      |      |       |     |      |       |     |      |      |     |      |       |     |
|----|-------|---------|-----|-------|-----|-----|------|---------|-----|-------|------|-----|-------|--------|------|-------|------|------|-------|------|------|------|-----|------|------|-----|------|-------|---------|------|-------|---------|------|-------|------|------|------|---------|------|-------|-------|------|-------|--------|------|-------|-----|------|-------|------|------|-------|------|------|-------|------|------|------|------|------|------|----------|------|-------|-----|------|-------|------|------|-------|-------|------|-------|-------|------|-------|-------|------|--------|-------|------|------|---------|------|-------|---------|------|-------|---------|------|-------|------|------|-------|-----|------|-------|-----|------|------|-----|------|-------|-----|
| 議長 | 矢島 良彦 | U Aゼンセン | 副議長 | 横澤 勝之 | 自治労 | 副議長 | 羽賀 実 | J A M新潟 | 副議長 | 小堺 宏彦 | 電機連合 | 副議長 | 火野 健悟 | J P 労組 | 事務局長 | 松野 憲一 | 電力総連 | 事務局長 | 青柳 拓二 | 情報労連 | 事務局長 | 小林 守 | 日教組 | 事務局長 | 原 栄治 | 自治労 | 事務局長 | 本田 淳一 | U Aゼンセン | 事務局長 | 高見 雅志 | J A M新潟 | 事務局長 | 伊丹 信夫 | 交通労連 | 事務局長 | 金子 敬 | ヘルスケア労協 | 事務局長 | 多田 将行 | 自動車総連 | 事務局長 | 小池 昭夫 | J R 総連 | 事務局長 | 寺尾 邦宏 | 日教組 | 事務局長 | 皆川 清市 | 情報労連 | 事務局長 | 山田 拓己 | 運輸労連 | 事務局長 | 藤澤 和浩 | 私鉄総連 | 事務局長 | 今井 稔 | 基幹労連 | 事務局長 | 平井 章 | J E C 連合 | 事務局長 | 山田 康浩 | 全水道 | 事務局長 | 富岡 幹雄 | 見附支部 | 事務局長 | 関口 善仙 | 小千谷支部 | 事務局長 | 中嶋 信幸 | 北魚沼支部 | 事務局長 | 小林 友和 | 南魚沼支部 | 事務局長 | 山口 耕一郎 | 十日町支部 | 事務局長 | 石塚 亮 | S J ネット | 事務局長 | 保科 博子 | S J ネット | 事務局長 | 石田 千絵 | S J ネット | 事務局長 | 片桐 真治 | 紙パ連合 | 事務局長 | 小玉 太祐 | 全労金 | 事務局長 | 小玉 太祐 | 全労金 | 事務局長 | 石塚 亮 | 事務局 | 事務局長 | 木田由紀子 | 事務局 |
|----|-------|---------|-----|-------|-----|-----|------|---------|-----|-------|------|-----|-------|--------|------|-------|------|------|-------|------|------|------|-----|------|------|-----|------|-------|---------|------|-------|---------|------|-------|------|------|------|---------|------|-------|-------|------|-------|--------|------|-------|-----|------|-------|------|------|-------|------|------|-------|------|------|------|------|------|------|----------|------|-------|-----|------|-------|------|------|-------|-------|------|-------|-------|------|-------|-------|------|--------|-------|------|------|---------|------|-------|---------|------|-------|---------|------|-------|------|------|-------|-----|------|-------|-----|------|------|-----|------|-------|-----|



# 新年のごあいさつ

長岡市長 森 民夫

明けましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。連合中越様におかれましては、日ごろから勤労者や家族の暮らしの向上のため、地域に根差したさまざまな事業に取り組まれていることに心より敬意を表します。

今年度からは、「長岡パーソナル・サポート・センター」において、市の「生活困窮者自立支援促進モデル事業」を実施していただいておりますが、相談者に寄り添ったきめ細やかなサポートにより、着実に成果を上げています。

また、開設から7年を迎える「ながおかライフサポートセンター」も、勤労者の生活に関する相談に、行政や弁護士、金融機関、社会保険労務士、カウンセラーなどと連携し、一緒に解決の糸口を見出すという体制をしっかりと整えていただいております、相談件数も2,800件を超え、市民の心強い存在となっております。

さらに、昨年9月に開催された「ワークライフセミナー」には、市民や社会福祉団体、NPO団体などが多く参加し、安心・共生の福祉社会の実現に向けて活発な意見交換が図られたと伺っております。

ほかに、柿川周辺の清掃やアジア・アフリカ救援米運動などの活動も継続して実施していただいております、まさに市民協働によるまちづくりを率先して実践されています。

さて、雇用情勢においては、求人数の増加とともに、この春に高校や大学を卒業する学生の就職内定率も昨年度を上回る状況となっております。一方で、雇用のミスマッチなどによる厳しい状況も見受けられます。市も、ハローワーク長岡や長岡商工会議所で組織する「長岡市雇用対策協議会」で連携を取りながら、引き続き就職支援に取り組んでいきます。

近年、地方都市では首都圏への人口流出や少子高齢化による人口減対策と活力の維持は大きな課題となっております。そのためには、地方が競いながらもスクラムを組んで連携していくことが大事であり、長岡を中心に6市3町をエリアに活動する連合中越の皆様は欠かせません。市も、長岡の将来を担う若者が「いきいきと働けるまち」の実現に向け、若者の定住やU・Iターン、企業誘致の促進、そして起業・創業への支援、3大学1高専や専門学校と連携した産業振興などに積極的に取り組んでいきます。

今年度は、長岡空襲、終戦から70年という特別な年でもあります。平和への想いを共有するために続けてきた姉妹都市・ホノルル市との交流は、若者の平和交流をさらに進め、終戦記念日には真珠湾で慰霊と平和を願う長岡花火を打ち上げます。これは、戦災都市の長岡市にとって大変意義深く、私たち市民の誇りにつながるものです。

今年度は、長岡空襲、終戦から70年という特別な年でもあります。平和への想いを共有するために続けてきた姉妹都市・ホノルル市との交流は、若者の平和交流をさらに進め、終戦記念日には真珠湾で慰霊と平和を願う長岡花火を打ち上げます。これは、戦災都市の長岡市にとって大変意義深く、私たち市民の誇りにつながるものです。

今後も、夢と希望にあふれる「ふるさと長岡」をつくるため、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとって幸多い年となるようお祈り申し上げ、年頭のあいさつといたします。



# 新年のごあいさつ

見附市長 久住 時男

新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年10月の市長選挙におきまして、多くの市民の皆様のご支持をいただき、4期目の市政のかじ取りをさせていただくことになりました。これまで取り組んできた、「オンリーワンのまちづくり」「スマートウエルネスみつけ」といったチャレンジや、私が思い描くこれからのまちづくりに対し、共感をいただいたものと自信を深めるとともに、皆様の期待に応えられるよう決意を新たにいたしました。

さて、平成26年を振り返ると、「市民との協働のまちづくり」が大きな成果として実感できた年だったように思います。

6月には、天皇皇后両陛下が見附市をご訪問され、平成16年に起こった7・13水害の様子と復旧状況をご視察になりました。水害以後、防災・減災の仕組みを市民と共に作り上げてきた見附市にとって、両陛下にお越しいただいたことは、大変誇らしいことであり、市民を代表して応対させていただき、とても光栄に思いました。

7月には、ネーブルみつけが開館10周年を迎えました。また9月には、一昨年に誕生した道の駅パティオにいがたが約1年で来場者100万人を達成しました。これらはいずれも、見附の交流・観光の拠点としてその機能を果たしている施設であり、市民の皆様のご知恵や力をお借りしながら運営を行っていることから、全国的にも高い評価を受けています。改めてこのまちの市民力の高さを実感するとともに、市民の皆様へ感謝を申し上げます。

一方、これからは「超高齢化と人口減少社会」を見据えたまちづくりが重要となります。この深刻な社会問題を背景に、昨年、国に提案した総合施策が「地域活性化モデルケース」として認定されました。この提案は、今まで市が行ってきた「健幸なまちづくり」をベースにしたものであることから、認定されたことは、これまでの取り組みが国に認められたとともに、見附市に大きな期待が寄せられていることを意味しています。5年間、その実現に向けて、国を挙げての支援を受けられるという、全国でも数少ない限られたチャンスを生かしながら、これから迎える超高齢化と人口減少社会を克服できるまちづくりに挑戦していきたく思います。

昨年度、教育委員会が市内のすべての小・中学生に行ったアンケートで、小学生の95%、中学生の89%が「見附が好き」と回答しました。子どもたちが見附市に愛着を感じていることを素直にうれしく思うと同時に、見附の将来を担う子どもたちが、いきいきと活躍できるまちづくりを進めていかなければならないと思っています。そのためにも、さらにまちの魅力に磨きをかけていく必要があります。引き続き、市民の皆様のご協力をお願い申し上げます。

最後に、この新しい年が、皆様にとりまして幸多き年となりますことを心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

# 謹賀新年

本年も変わらぬご愛顧をお願いいたします



長岡支店 TEL.0258-33-6318  
長岡北支店 TEL.0258-34-5010

**KuruCo** クルコ 愛されて60年 たすけあう心を大切に

安全・安心の食材をおうちの玄関までお届けします!

冬の新規ご加入 あったかキャンペーン!

申込み〆切 2/27金

クルコこだわりの商品をプレゼント

特典1 新規ご加入でクルコオリジナルの!

4 みんなプレゼント!

特典2 お届け手数料8週連続

個人宅配 216円が0円  
ヘア宅配 86円

特典3 「週刊KuruCo」から品以上購入で

ご加入後3週間 一部対象外の商品があります。 10%OFF

お電話から 0120-222-559 KuruCoコールセンター 月～金曜日9:00～19:00

インターネットから http://www.niigata.coop